

この2つの軸が交わる場所には水を張った水盤があり、屋根から入ってくる自然光が水盤を照らす仕組みになっています。水により津波を想起させ、光によって未来に向けた復興を感じさせることで、ここを追悼・鎮魂の場としているのです。そして大屋根のファサードには、1万8434個の小さな穴が開けられており、夜間になると燈が灯ります。これは震災の犠牲者数を示しています(注②)。

広大な公園内は「祈りの軸」と「復興の軸」という2つの軸を中心に、奇跡の一本松、追悼の広場、海を望む場などで構成される国営追悼・祈念施設となっています。海に向かって垂直に延びる祈りの軸は津波の襲来した広田湾方向と津波が遡上した気仙川上流部を東西に結び、海と併行して延びる復興の軸は震災の脅威を伝える旧道の駅タビック45(P45)から現在の道の駅高田松原を南北に結んでいます。



祈りと鎮魂を意味する「大屋根のファサード」。清澄な美しさをテーマにデザインされている。白いコンクリートのパネルには間接照明が配置され、夜間には1万8434個の燈が灯る



祈りの軸の終点「海を望む場」。ここからは震災時に津波が押し寄せた広田湾や再生していく名勝・高田松原、そして陸前高田の市街地やこの地方の山々を広く望むことができる



津波が襲来した海への祈りの方向を示す祈りの軸と、旧道の駅と新道の駅をつないだ復興の軸が交わる場所にある「トップライトと水盤」。来訪者の気持ちを静める追悼・鎮魂の場となっている

考えてみよう

Q1 現在の高田松原津波復興祈念公園は、今後の新たな津波被害から市街地を守るためにどのような機能を備えているのでしょうか？

●りくぜんたかたし
陸前高田市

**高田松原津波復興祈念公園
国営追悼・祈念施設**

●たかたまつばらつなみふっこうきねんこうえん
こくえいついとう・きねんしせつ

5つの震災遺構が残る追悼・鎮魂の場

陸前高田市の被害状況

最大震度	6(推定)
浸水面積	13km ²
最大浸水深	18.34m
全壊	3,807棟
半壊	240棟
一部損壊	3,988棟
死者	1,606人
行方不明者	202人
負傷者	不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

慰霊碑公園

- 施設ガイド ※要予約
- 語り部あり ※要予約
- 車椅子OK

施設DATA

●たかたまつばらつなみふっこうきねんこうえん
こくえいついとう・きねんしせつ
**高田松原津波復興祈念公園
国営追悼・祈念施設**

☎ 0192-22-8911 MAP P114D1

⑤ 陸前高田市気仙町土手影180
③ 三陸沿岸道路陸前高田ICから車で5分
🕒 9~18時(10~3月は9~17時)

- 🆓 無料
- 🆓 無料
- 🅕 あり(大型バス:あり)

<https://takatamatsubara-park.com>



① 市街地を津波から守るため、防潮堤や海岸防災林の整備のほか、津波エネルギー減衰機能の付加などを行っている。

注① 出典:岩手県東日本大震災津波の記録,平成25年3月,岩手県
注② 2018年3月11日時点の警察庁発表資料による